

エイズ・性感染症対策基本方針に基づく取り組み・今後の計画等

<委員名> 伊藤 俊広 委員・今村 淳治 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	<p>○ホームページ「東北AIDS/HIV情報ページhttp://www.tohoku-hiv.info/」において基礎知識等情報提供している。</p> <p>○主に医療者に向けた情報提供として、東北ブロック・エイズ拠点病院等連絡会議(年2回、うち1回は他県の状況を中心とした内容)で治療の最新情報と現状報告をしているほか、院内教育や症例検討等を含む内容にて、東北HIV/AIDS看護研修(年1回)、東北HIV/AIDS薬剤師・心理福祉連絡会議(年1回)、東北エイズHIV臨床カンファレンス(年1回)を開催。</p> <p>○更に、地域施設に出向く形式で、仙台医療センターHIV/AIDS包括医療センター出張研修(年複数回)、HIV長期療養支援室の施設訪問(年複数回)等を実施。これら活動を通じ、ブロック拠点病院として行政・拠点病院医療者・介護等長期療養施設職員等に向けた情報提供を継続している。</p>
		学校における感染症教育	○仙台医療センター看護学校での講義は実施しているものの、感染症教育としての実績無し。
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	<p>○仙台市のイベント検査会(年2回程度)に医師を派遣。</p> <p>→検査会でHIV陽性者があった場合は、保健師と連携し確実な病院受診に繋げている。</p> <p>○ホームページ「東北AIDS/HIV情報ページ http://www.tohoku-hiv.info/」でHIV検査情報提供。</p>
		相談・カウンセリングの充実	○当院感染症内科を受診しHIV検査を行う患者に対しては、医師・看護師・カウンセラーが予防やHIV知識を含め説明している。
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	<p>○仙台医療センターでは全科で対応。</p> <p>→感染症内科看護師(HIVコーディネーターナース)が病棟や他科受診が円滑となるよう調整支援を行っている。</p> <p>→感染症内科では患者中心のチーム医療を実践。外来日は月曜日・水曜日・木曜日・金曜日、継続通院患者数約200名。定期的なカンファレンスに加えてミニカンファレンスを週1実施することで、多職種が同じ視点で患者支援にあたるよう情報共有を行っている。</p> <p>→感染症内科外来専従のカウンセラー(心理療法士)がカウンセリングを実施。カウンセリング以外でも診療待合室等で気軽に会話ができる環境を整えている。</p> <p>→診療時にはHIV担当薬剤師が同席、患者個々の治療内容や生活状況を把握した上で、服薬支援を行っている。</p> <p>→地域連携室ケースワーカーと感染症内科看護師(HIVコーディネーターナース)との連携によるきめ細かい福祉サービス支援を実施。血友病HIV患者(薬害被害者)には、HIV専任ケースワーカーが個別に面会を行っている。</p> <p>○患者の高齢化等踏まえ、センター内に「HIV長期療養支援室」を組織、HIV患者の地域病院受診や福祉サービス・長期療養施設の利用が円滑になされるよう、支援室スタッフが地域に出向いての意見交換をはじめ、各施設・医療者との連携体制強化を図っている。</p> <p>○血友病HIV患者(薬害被害者)に対して関節可動域等を調べるリハビリ検診会を年1回実施。また、外来リハビリを開設し、患者個々の状態に合わせて日々できる運動を理学療法士が提案している。</p> <p>○東北在住の血友病HIV患者(薬害被害者)に対しては、個々に必要な各種検査を入院しまとめて行う「検査入院」を実施している。</p>
		生活全般に亘る支援	○当科担当看護師(HIVコーディネーターナース)が患者各々の治療と生活状況を把握し、通院継続できるようコーディネートしている。

<委員名> 児玉 栄一 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	<令和5年度> 大学等の教育機関での情報提供
		学校における感染症教育	<令和6年度(予定)> 大学等での感染症に関する情報共有・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ感染症の講義・講演等でも性感染症を取り上げて比較する。学校教員等からの日々困っている感染症対策における要望・質問にも答えられるような機会を作る計画を立てる。既存の教育プログラムを補完するような支援項目の調査なども有効かもしれません。なかなか教育の場で広がらないボトルネックの解消や性教育を行う場合に保護者への対応を用意したほうがいいかもしれません。すべての対象者に教育するのが理想ではあるが、困難であるため、一定の集団をパイロット的に教育してみてもいいかもしれません。
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	<令和5年度> 東北大病院での対応に加えて、必要に応じて現在の仙台市の無料検査体制などにも協力する。
		相談・カウンセリングの充実	<令和6年度(予定)> 東北大病院での対応に加えて、必要に応じて現在の仙台市の無料検査体制などにも協力する。予算にもよりますが、他の性感染症に対する検査も増やせたらいいのかもしれない。
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	<令和5年度> 病院外来・入院等での診療を介して支援を行う。
		生活全般に亘る支援	<令和6年度(予定)> 病院外来・入院等での診療を介して支援を行う。

<委員名> 谷津 裕子 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	○所属大学において看護学群・研究科を対象にした性感染症対策に関する授業や研究指導を行う。 ○大学・高等学校・専門学校等からの依頼を受け、性感染症対策や健康教育に関する講義を行う。
		学校における感染症教育	
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	○所属大学において性感染症や月経、性の問題に相談窓口となり、希望学生に対して個別相談を行う。 ○保健室や相談室と連携し、必要があれば適した医療機関の受診を勧める。
		相談・カウンセリングの充実	
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	○専門の診療科や医療機関への紹介を含めて支援する。
		生活全般に亘る支援	

<委員名> 高橋 剛 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	○HIV検査普及週間における啓発 ○「世界エイズデーせんだいキャンペーン」 ・医療機関等への啓発ポスター・カードの設置・配布協力依頼に基づいて会員へ協力を依頼する
		学校における感染症教育	
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	○会員医療機関での患者への自治体による無料検査案内、希望者に対する検査実施。 ○性感染症医療機関検査モデル事業への協力
		相談・カウンセリングの充実	
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	○HIV検査陽性者に対する受診勧奨、拠点病院への紹介などの対応を会員医療機関に対して周知する ○行政との支援連携
		生活全般に亘る支援	

<委員名> 齋藤 敏典 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	宮城県泌尿器科医会における講演依頼受付。 外来での情報提供と啓発。
		学校における感染症教育	
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	仙台市性感染症医療機関検査モデル事業への参加。
		相談・カウンセリングの充実	
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	エイズ拠点病院への紹介を含めた外来診療における情報提供。
		生活全般に亘る支援	

<委員名> 守末 紀生 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	HIV及び性感染症の検査普及に対する啓発ポスターの掲示 【感染症の基礎知識】 ○病原体別の分類 ・エイズ(後天性免疫不全症候群)⇒ヒト免疫不全ウイルス(HIV) ・淋病⇒淋菌 ・梅毒⇒細菌の一種(梅毒トレポネーマ) ・性器クラミジア感染症⇒クラミジア・トラコマチス ○感染症発生の3大要因 ①病原体の存在(感染源)⇒ヒト(患者、保菌者) ②感染経路⇒・接触感染 ・胎内感染 ・体液(唾液、精液、血液) ・器物(患者の血液が付いたハサミ、カミソリ、バリカン、タオル) ・輸血 ③宿主の感受性⇒人によって感受性(抵抗力)に差がある ○予防法⇒感染経路の遮断 ○消毒法 ・手指の消毒・器具、布片の消毒・煮沸消毒 ・エタノール消毒 ・次亜塩素酸ナトリウム消毒
		学校における感染症教育	
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	保健室において担当教員による相談の機会を設ける
		相談・カウンセリングの充実	

<委員名> 鈴木 仁美 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	【令和5年度】 性に関する指導年間計画に基づいて教科指導の充実を図った。 学級担任、養護教諭のチームティーチングによる保健指導。
		学校における感染症教育	【令和6年度】 同様の計画。学習指導要領に基づき、児童の発達段階に沿った指導を行う。
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	【令和5年度】 保健室での個別の健康相談活動 (保護者、児童)
		相談・カウンセリングの充実	【令和6年度】 同様の計画。

<委員名> 岡崎 奈保美 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	<令和5年度の取り組み> ○世界エイズデー(12月1日)に合わせて ・保健便りの発行 ・保健委員による昼の放送 ・掲示物の作成 ○保健体育の授業(3年生)
		学校における感染症教育	<令和6年度の予定> ○11月 3年生対象 「思春期健康教育」の実施(助産師さんによる講話) ○世界エイズデー(12月1日)に合わせて ・保健便りの発行 ・保健委員による昼の放送 ・掲示物の作成 ○保健体育の授業(3年生)

<委員名> 後藤 佳子 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	●世界エイズデー(12月1日)に合わせて ・保健だよりの発行 ・保健委員会による昼の放送 ・校内レッドリボン・キャンペーンの実施 ・高校保健ニュース(掲示物)
		学校における感染症教育	●保健体育・家庭科・情報・特別活動等の領域での授業 保健体育⇒「現代社会と健康」現代の感染症とその予防 「生涯を通じる健康」生涯の各段階における健康 家庭科⇒「公衆衛生」疾病の予防と健康づくり ●学年ごとLHRでの保健講話(外部講師による) ・1年次⇒「SNSの犯罪の概況について」 ～若者とSNSの危険について～ 仙台北警察署 生活安全課 只野 真衣 氏 ・2年次⇒「思春期の性について」 ～医療の現場から～ 坂総合病院 産婦人科小児科診療部長 船山 由有子 氏 ・3年次⇒「若者と薬物の危険について」 本校学校薬剤師 アイン薬局 武藤 巧氏

視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ●HIVや性感染症が疑われる生徒については、状況を確認し、検査会場の案内や協力医療機関の受診を勧める。 ※仙台市ホームページ参照 ⇒仙台市保健所(各区役所)、健康相談所興生館:匿名・無料 ⇒協力医療機関(リスト11箇所) ※検査を受けられる曜日・時間帯が各医療機関により異なるため確認と予約を勧める。
		相談・カウンセリングの充実	<ul style="list-style-type: none"> ●常に、生徒が相談しやすい関係性や環境づくりを大切にしながら、保健室や相談室(カウンセリング)の運営にあたる。※SCとの連携 ●HIVや性感染症に罹患した可能性があると生徒から相談を受けた場合、本人のプライバシーに十分配慮しながら、校内体制を整備し、専門機関(保健所や協力医療機関等)との連携を図りながら、迅速に対応していく。
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒がHIVや性感染症に罹患した場合、必要な医療・福祉を受けられ、かつ偏見・差別のない学校・社会生活を送ることが出来るように、家庭との連携を密にしながら支援していく。
		生活全般に亘る支援	<ul style="list-style-type: none"> ●学校生活や家庭生活を送る上での留意点について確認し、性感染症拡大の防止に努めていく。 ※校内では、特に、血液感染に十分に注意する。 ・出血を伴う創傷時の対応 ・私物等の貸し借り(共用)はしない。 ・トイレ、飲食時の留意点について確認する。

<委員名> 太田 貴 委員

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <令和5年度・令和6年度(予定)> ■WEBサイト「仙台HIVネット」での情報提供(感染症対策室との協働) ■community center ZELフリーペーパー、HP、SNSでの情報提供 ■HIV/AIDS・性感染症勉強会「What's "UP"」実施 (HIV陽性者スピーカーによる研修会/日本エイズ学会参加報告会/PrEP勉強会など) ■世界エイズデー展示(仙台市市民活動サポートセンター1階)
		学校における感染症教育	
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <令和5年度・令和6年度(予定)> ■HIV検査担当者研修会(MSM対応、CSW対応) ■MSM向け検査広報(アプリケーション広告など。感染症対策課との協働) ■郵送検査キット無料配布(MSM限定/一部LGBTQ+対象) ■MSM向けクリニック検査への協力(厚労科研費) ■community center ZELでの相談対応 ■HIV/AIDS GAP6より厚生労働省へ検査についての要望書提出
		相談・カウンセリングの充実	
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	<ul style="list-style-type: none"> <令和5年度・令和6年度(予定)> ■community center ZELでの相談対応 ■HIV陽性者スピーカーによる研修会 ■HIV陽性者交流会への協力
		生活全般に亘る支援	

視点		基本施策	令和5年度及び令和6年度の取り組み(今後の計画含む)
視点1	正しい知識の普及	啓発活動・情報提供	<p><令和6年度></p> <p>◎HIV陽性者によるピア電話相談 毎週木・日 12:00～19:00 090-7993-9447 対象者:HIV陽性者。感染不安者・患者家族、パートナー全般。市民全般 相談員はフラットな視点で相談者の話しを聞くことを重視している。一般的には、情報をネットで入手する場面が多いが、日曜日の開設、医療機関や行政機関に聞きにくいことなど、相談を受けている。必要に応じて相談員がHIV陽性者であることを伝えているため、その経験は、相談者の不安解消に活かされたり、HIV感染症を直接知る期間にも役立っている。</p>
		学校における感染症教育	<p>◎各種研修会、学生講義等へのHIV陽性者の講師派遣 令和6年度:名古屋市立大学 医学部・薬学部・看護学部学生280名 2024.4 令和健康科学大学看護学部 80名 2024.7 新潟市民病院 医療スタッフ及び職員向け研修会 希望があれば、医療機関、行政や福祉施設。学校現場に講師を派遣します。日程、時間、予算。オンライン実施等応相談。 ◎その他、各種学会発表等情報発信 国際社会学会 2024.9 フルシャワ・ポーランド 日本エイズ学会 2024.11 東京</p>
視点2	検査・相談の充実	検査体制の充実	<p><令和6年度></p> <p>◎HIV陽性者によるピア電話相談 HIV陽性者の立場から感染不安を傾聴しHIV検査を勧めている。とくにHIVを受ける意味や、期待される効果を重点的に伝えている。これまで検査相談は、公衆衛生的視点が強く、感染不安の際に、受検者が検査を受けることを躊躇したり、否定的なまま不安を増す傾向も見られた。私たちは視点を変え、結果は陰性結果をうけて安心感を得ること、万が一の早期発見も、エイズを発症させずにこれまでの生活を続けられること、期待の人生をまっとうできること、パートナーや家族、周囲の人に感染させないために受けることを前向きに伝えて、検査を勧めている。補足として、長く生きられることを証明できる人が相談員をしていることを伝えた場合は、不安解消に一助、安心感にも繋がっている。</p>
		相談・カウンセリングの充実	<p>◎広島市との協働によるHIV・梅毒臨時検査 行政、NGO、地元医療機関、市内クリニック等が協働し、臨時検査を実施する。 この連携は、HIV陽性者、HIV検査受検者、検査実施者等、それぞれの視点から課題共有、相互理解につながり、地域の感染症対策の一助にも活かされている。また、ゲイバー等啓発資料の配布には当スタッフ、広島市職員も同行し、地域飲食店等信頼構築にも繋いでいる。HIV・梅毒臨時検査 2024.12 広島市</p>
視点3	患者・感染者への支援	必要な医療・福祉サービスの支援	<p><令和6年度></p> <p>◎HIV陽性者によるピア電話相談 HIV陽性者としてこれまで受けてきた自らの経験は、必要に応じて医療機関と情報共有している。全てのHIV陽性者に活かされるように努めている。とくにりょうちゃんずの相談員は、HIV感染歴、治療歴が40年を越えている者もいるため、他者には代え難い経験値がある。これからも当事者の声を届けていく所存である。</p>
		生活全般に亘る支援	<p>◎差別偏見の解消、生きづらさの克服 これまでHIV感染症の取り組みは、医療体制、迅速検査普及、情報発信の充実など評価されることは大きい。しかし、一方では未だにHIV感染症が差別偏見の対象とされ、HIV陽性者、非感染者共にHIV感染症を否定的に捉えがちである。コロナ流行時にも80年代のエイズパニックと同様に、いつ、どこで、だれが感染した、感染させたなど事実のみ視点が集まり、差別偏見、恐怖心の煽り、人々の分断等が繰り返された。今後は、過去の経験を否定的な課題、教訓に終わらせることなく、市民社会において、HIV感染症が正しく理解され、HIV陽性者が周囲に気兼ねなく生活できる生きやすい社会となるよう取り組んでいく所存です。そのためにはこれまでの経験を活かし、社会還元、情報発信しながら、当委員会の皆様、担当部局の皆様。医療機関、教育現場、NGOの皆様、共に考えていけるよう期待します。</p>